

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

1 単元名 熊谷の魅力をPRしよう！

2 単元の目標

生徒たちの生活の基盤である熊谷市について、「産業、交通、歴史・文化、スポーツ、観光、市政、自然、グルメ」の8つのテーマの中から、最も魅力的であり熊谷市の特色として発信していきたいと思うものについて、自分なりの視点をもって調査を行う。調査内容をもとにパネルを作成してPRを行うことで地域の特性に気づき、地域の発展について考えるきっかけとする。また、10月に予定されている校外学習の行き先である「川越市」との比較も交えながら地域の共通点や固有性の理解にもつなげていく。

3 単元の評価計画

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①課題の本質に迫るために、適切な調査方法を考え、実施している。 ②地域に合わせた様々な特色があることを理解している。 ③熊谷の魅力発信の学習を通して、地域の特性を生かしたまちづくりと現在の生活との結びつきに気付いている。	①各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮し、学習に取り組んでいる。 ②熊谷の特色について、疑問や興味をもち、課題を発見・設定している。 ③自身の調べたことや考えたことを、相手にわかりやすく伝わるように、表現を工夫してPRしている。 ④地域の特色を多面的・多角的に見て、収集した情報を比較し、共通点や固有性を見つけながら、多様な情報を取捨選択して整理・分析している。	①自らの興味・関心に基づいて設定したテーマの価値に気づき、意欲的・主体的に活動に取り組もうとしている。 ②自分たちの住む街の良さや課題を多面的・多角的に捉え、今後の生活に結び付けようとしている。

4 単元の指導計画と評価計画 (31時間)

過程	○学習活動 ・生徒の思考	・指導上の留意点 ○評価 (評価方法) ★他教科との関わり
課題設定	○オリエンテーションを行う。(1) ・今期の総合的な学習の時間の進め方がわかった。 (2) ○タブレット機能の活用方法を知る。(1) ・情報収集の仕方、収集した情報の保存の仕方、それらのまとめ方、共有の仕方などがわかった。	・総合的な学習の時間のねらいや進め方について確認し、学習に見通しをもつことができるようにする。
課題設定 情報収集 整理分析 まとめ 表現 (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 課題① 熊谷市の暑さ対策を知り、実践しよう (5時間) </div> ○熊谷の暑さとその対策の現状を知る。(3) ・暑さの対策にもいろいろな方法があるのだな。 ・個人で取り組めることと、そうでないことがあるな。 ○グリーンカーテンをつくる。(2) ・校舎のどっち側につくったらいいのかな。 ・グリーンカーテンでどのくらい効果があるのだろう。	★ 数学 ：正の数・負の数の利用 (1) ・数学での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 ○ 思・判・表① (活動の様子) ・根拠を明らかにして有効な暑さ対策を見極める。 ・手間、コストなど様々な面からのメリット・デメリットを考えられるようにする。 ★ 理科 ：いろいろな生物とその共通点 (1) ・理科での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 ○ 思・判・表① (活動の様子) ★ 言語能力 【中1⑫根拠の明確さ】

<p>課題設定</p> <p>情報収集</p> <p>整理分析</p> <p>まとめ表現</p> <p>(9)</p>	<p>課題② 熊谷のことをもっと知ろう (9時間)</p> <p>○8つのテーマ「産業、交通、歴史・文化、スポーツ、観光、市政、自然、グルメ」について、熊谷市といえば…と思いつくものを挙げる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに思いつくテーマと難しいテーマがある。 ・弱い(キーワードが少ない)分野もあるな。 <p>○夏休み中の実地調査に向けて、自分が調査したいテーマを決め、調査計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に熊谷に住む私たちだからこそ得られる情報って何だろう。 <p>○自分が調査した熊谷の特色について、パネルにまとめ、発表をする。(5) 個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のまだ知らなかった熊谷について知ることができた。 ・熊谷にもたくさんの魅力があるのだな。 ・まとめ方、発表の仕方がうまい人がいるな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組めるよう、ゴール地点を明確にして説明をする。 ・生徒が関心のある身近な項目から埋めていけるようにアプローチする。 ・なかなか埋まらないテーマについては、電子黒板等を利用して、クラス全体で特色を見つけていく。 ・インターネットや紙面だけの情報で終わらないように助言する。 <p>★言語能力【中1②材料の整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知・技①(ワークシート) ○思・判・表②(活動の様子) ○態①(活動の様子・ワークシート) <ul style="list-style-type: none"> ・作品の見本を用意し、生徒が完成形のイメージをもって準備ができるようにしておく。 <p>★言語能力【中1①表現の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○思・判・表①(活動の様子) ○思・判・表③(発表の様子・作品) ○態②(パネル作品・発表の様子) <p style="text-align: center;">5/5【発表】9月6日(水)の授業</p>
<p>課題設定</p> <p>情報収集</p> <p>整理分析</p> <p>まとめ表現</p>	<p>課題③ 外から熊谷を見よう (9時間)</p> <p>○川越と熊谷を比較する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町と宿場町の違いって何だろう? ・それぞれの良さにはどんな点があるかな。 <p>○川越現地調査(インタビュー等)で確認したいことをまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷市外の人たちには熊谷はどう映っているのだろう? ・熊谷の魅力や特色はどれだけ認知されているのかな。 <p>○校外学習のレポート(個人)まとめ新聞(生活班)を作成する。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越の魅力に気づくことで、熊谷にも同じような魅力があるな。 ・他の班のまとめ方も参考になるな。 	<p>★言語能力【中1⑤情報の整理の仕方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPや「広報川越」を活用させる。 ・川越と熊谷とは街づくりの視点や目的が異なるため、単純に優劣を比較した結論にならないように働きかける。 ・他地域の魅力や特色、街づくりの特性を実体験できる機会と捉え、生徒が自ら決めたテーマで現地調査ができるよう学習を進める。 ・自分の設定したテーマに沿ってインタビュー等を行えるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○知・技①(質問内容) ○知・技②(ワークシート) ○態①(活動の様子) <ul style="list-style-type: none"> ・自ら立てた疑問の解消ができたか、予測と現実はどう異なっていたかを振り返らせる。 <p>★言語能力【中1⑬表記や語句の用法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知・技② ○思・判・表④(活動の様子) ○態②(新聞作品)

課題 設定 情報 収集 整理 分析 まとめ 表現 (6)	課題④ 熊谷市の良さをみつけよう (6時間)	
	○他市町村との違いから見えてきた熊谷市ならではの良さ・特長をもう一度考える。(3) ・良いと思うところもあるけれど、もっとこうしてほしいところもあるな。 ・中学生の意見も取り入れてほしいな。 ○熊谷市がよりよい街へと変わっていくために必要なことを見つめ直す。(3)	・川越市との比較から地域の共通点や固有性の理解につなげる。 ・熊谷の「良いなと思うところ」「もっと○○ならいいなと思うところ」の視点でワークシートに記入させる。 ○態① (活動の様子・ワークシート) ・地域の特性に気付き、地域の発展について考えるきっかけとする。 ・切り返しや追質問を通して対話的で深い学びになるように配慮する。 ○知・技③ (ワークシート)

5 本時 (16/31)

(1) 本時のねらい

①相手にわかりやすく伝わるように、表現を工夫してPRすることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

②自分たちの住む街の良さや課題を多面的・多角的に捉え、今後の生活に結び付けようとしている。

(学びに向かう力、人間性等)

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 (配慮・手だて) ◎評価
1 本時のめあてを知る。		○夏休み前からの学習を振り返り、最後のまとめであることを意識させる。
熊谷の特色をPRしよう!		
2 発表に向けた最終練習をする。	○聞き手に伝わるPRの仕方 【中1①表現の工夫】 ・聞き手の受け止め方 ・聞き手の理解の状況	○ワークシートにチェック項目を載せ、自分の練習を見直せるようにする。 ○机間巡視を行い、必要に応じて発表に向けた助言を行う。
3 自分が調査した熊谷の特色について作成したパネルを用いて、グループ内で発表をする。	○熊谷市の特色、良さと今後の生活との関連	○1人4分の発表時間・質疑応答で回していく。1分前のアナウンスをする。その後1分程度で評価シートの記入。 ◎相手にわかりやすく伝わるように、表現を工夫してPRしている。 思・判・表③ (発表の様子)
予想される生徒の発表例 ○熊谷銘菓五家宝【グルメ】 五家宝の由来や起源、歴史。どのように発展してきたのか。五家宝の認知はどの程度? 他市町村の銘菓との売り出し方の違いなど。 ○熊谷次郎直実【歴史・文化】 幼い頃の逸話や功績、戦歴や直実節の歌詞の内容理解など。		
4 これまでの取組、及び本時の発表を振り返り、次時への課題へとつなげる。		◎自分たちの住む街の良さを捉え、今後の生活に結び付けようとしている。 態② (ワークシート等) ○本時の学習課題に対する自分の学びがどうであったか振り返らせ、次時への意欲を高める。